



市民ツバメ調査結果まとめ

平成30年4月から8月にかけて行った、「市民ツバメ調査」に御協力いただき、ありがとうございました。

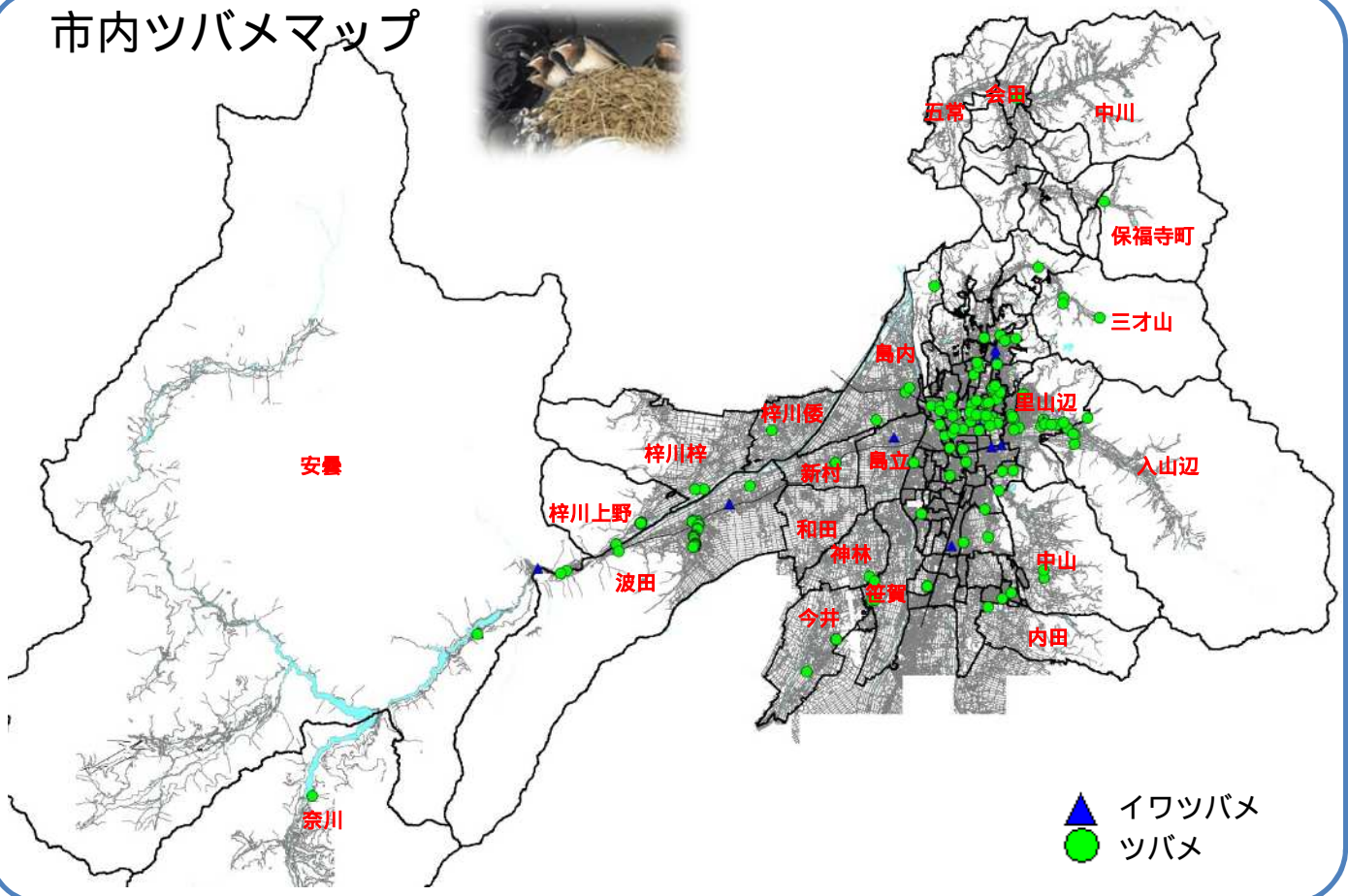
調査の結果をまとめましたので、御報告します。



報告件数 . . . 186件 報告者数 . . . 42人・団体

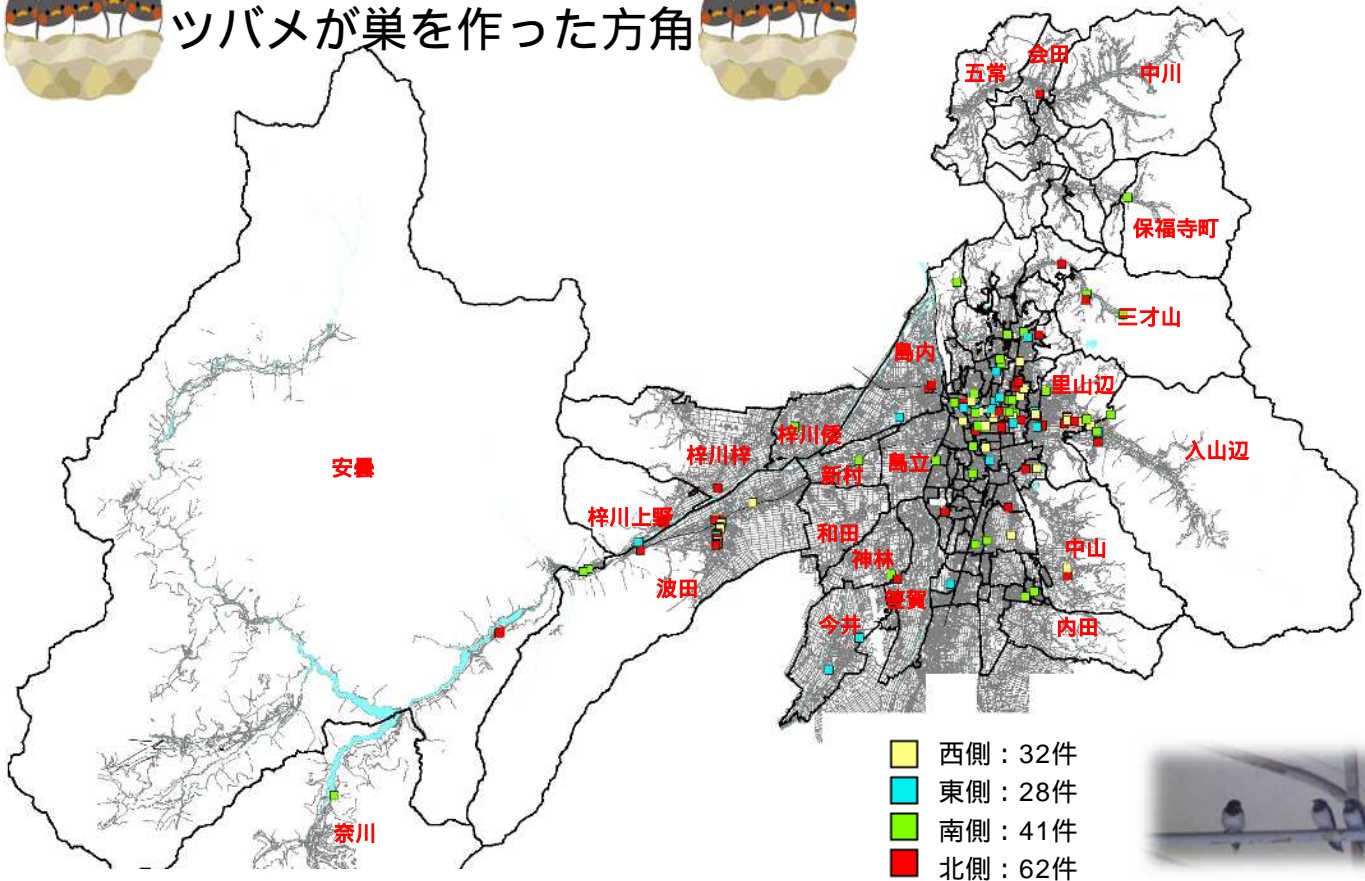
種類		
	ツバメ(ツバメ科)	イワツバメ(ツバメ科)
報告件数	167件	19件
巣があった場所	戸建、ビル、消防団詰所 ワイナリー、車庫	橋、倉庫、ビル、学校
報告された巣の数	約300個	約130個

市内ツバメマップ





ツバメが巣を作った方角



調査からわかったこと

- ・ツバメの巣の営巣方角は建物北側が一番多く報告されました。次の理由が考えられます。
 - 1 一般的に戸建住宅は南向きに建てることが多く、南北に軒がある。このためツバメが巣を作りやすい環境が南北方向に多かった。
 - 2 南側に比べて建物北側は温度変化が少なく、環境が安定していることがツバメに好まれた。
- ・イワツバメは橋の下、学校など大きな建造物に巣を作る傾向があることがわかりました。
- ・イワツバメは集団で巣を形成する性質があるため、報告数の割に多くの巣が報告されました。

数年後に調査を行い、今回の結果と比較することで生息状況の変化を調べることができます。

2回の巣立ち報告をくださった方や、ツバメの成長経過を報告くださった方、ツバメで自由研究をしたいと言ってくださった小学生もいました。御協力ありがとうございました。

おねがい

- ・松本市では、今後も市民参加型の生物調査を実施していく予定です。来年度以降も、ぜひ御協力をお願いします。
- ・「こんな調査をやってみたい」という御意見や、「こんな生きものを見つけたよ」というご報告をお待ちしております。

お問い合わせ

松本市役所 環境部 環境保全課 環境保全係（東庁舎4階）
 〒390-8620 松本市丸の内3-7 34-3267
 e-mail : kankyo-k@city.matsumoto.lg.jp

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本